

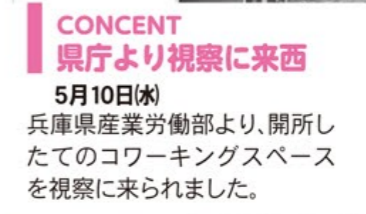
東京オリンピック・パラリンピック 4月8日(土)
オーストラリア卓球チーム視察団歓迎
合宿地の候補に挙がっている西脇市を視察に来られたウエイド・タウンゼントさん、ケーン・タウンゼントさんを、龍馬の袴と甲冑の着付け体験でもてなし。日本の文化にふれて、とっても喜んでいただけました。



エスモード ジャпон 東京校 播州織の産地視察 5月2日(火)
デザイナーのたまごである学生さんたちが、播州織工房、西脇情報未来館21、CONCENTを視察。産地の魅力を肌で感じていただきました。



CONCENT 県庁より視察に来西 5月10日(木)
兵庫県産業労働部より、開所したのワーキングスペースを視察に来られました。



西脇南中の生徒さん 3人を受け入れ トライやるウィーク

6月6日(火)~10日(土)
明るい挨拶がとても気持ちのいい藪本テルさん、古跡遥さん、川田結月さんが、来住邸、未来館、梅吉亭、工房館、CONCENTでの仕事を体験されました。5日間ごろうさまで。また遊びに来てね。



金屏風の寄贈 ありがとうございます! 5月27日(土)
素晴らしい金屏風を市内の藤原様よりご寄贈いただきました。大正屋敷の来住邸にて、大切に使用させていただきます。



ワン・ディ・シェフ「梅吉亭」 加西市より視察 6月7日(木)
加西市ふるさと創造部の方が「梅吉亭」の運営について視察に来られました。梅吉亭は、市民参加型ワン・ディ・シェフのレストランの成功例として全国的にも知られる存在です。



来住邸 ギャラリー
旧来住家住宅で行われる作品展を紹介いたします。

来住邸お知らせ 検索



浅田秀之の女性ポートレート 『オトナ女子VOIC』写真展 7月15日(土)~30日(日)
今回で二度目となる来住邸での写真展は、女性ポートレート写真がずらり。「楽しく、たまにはしつとりと、今後とも撮り続けていきたいテーマです」と話す、浅田さんのすてきな写真作品をお楽しみください。(芋焼酎)

つとりと、今後とも撮り続けていきたいテーマです」と話す、浅田さんのすてきな写真作品をお楽しみください。(芋焼酎)

8月 小松原ケンスケと仲間展 8月2日(木)~30日(木)



「混沌とした現在社会の中に生きる私たち。アートでどう応えるのか。シチュールで遊ぶ」をテーマに作品を展示します」と、小松原さんと、小松原さん、芸術家仲間による作品も展示され、今年も盛りだくさんの内容になりそうです。お楽しみに!(芋焼酎)

9月 第2回土下房千楽 陶人形展 9月1日(金)~14日(木)



見る人の心を和ませるほんわか温かな陶人形と陶額の作品が展示されます。夏の終わりにしほし癒やしのひとときを。(は)

増田節子陶芸・うつわ展 小林明美えんびつフェイ 又画展 9月16日(土)~29日(金)



共同展示。見知ったあの人や、お気に入り器を探すのも一興です。(p)



募集
●あなたも来住邸ギャラリーに作品を展示しませんか?
●西脇の歴史・文化・旅をテーマにした「たった弁の話」コーナーへのご寄稿も歓迎です! お気軽にお問い合わせください。(西脇TMO推進室 ☎0795・23・9119)

和味深心
YASUKE
昼 1,000円~*11時~14時
夜 1,000円~*17時~22時
*料理おさめは21時30分とさせていただきます *予約優先・不定休

6月~9月 期間限定料理
・うな重 並 1,250円
上 2,250円
特上 3,250円
・うなぎ蒲焼き 850円
・うなぎ白焼き 850円

ゆふぐれて 机のまへに ひとり居りて 鯉を食ふは 楽しかりけり

☎0795-22-4817
西脇市和布町188-4 (来住邸より南へ800m)

農家レストラン「日時計」
営業時間 9:00~15:00
定休日 月曜日(祝日は営業)
Tel. 0795(28)4851
(直通)090-9863-4851
西脇市黒田庄町門柳871-14
日時計の丘公園オートキャンプ場内

喫茶 Folks(フォルクス)
営業時間 9:00~16:00
定休日 水曜日(祝日は営業)
Tel. 0795(28)5120
西脇市黒田庄町喜多1518-1
日時計の丘公園フォルクスガーデン内

サテライトフォトコンテスト
北はりま田園空間博物館に登録されているサテライト(展示物)のお祭り・風景・ネイチャー等、季節を感じる写真を募集中! 写真を撮って豪華賞品をGETしよう!

★最優秀賞 1点
2万円と北はりまの特産品1万円 (黒田庄和牛 or 北はりまのお米)

★優秀賞 2点
5千円と北はりまの特産品5千円 (黒田庄和牛 or 北はりまのお米)

★入選 20点

応募受付期間 平成29年8月1日~8月31日

※詳細はHP・チラシをご覧頂くか、北はりま田園空間博物館へお問合せ下さい。(☎0795-25-2370)

特定非常料活動法人 北はりま 田園空間博物館
〒677-0022 兵庫県西脇市寺内517-1
TEL 0795-25-2370 FAX 0795-22-2123
ホームページ http://www.k-denku.com
Eメール info@denku.com
※開館時間 9時~18時(11月~2月) 9時~19時(3月~10月)
※年末年始は休館
NPO 法人北はりま田園空間博物館は西脇市・多可町との連携と交流の拠点としてまちづくりの推進に努めています

読者文芸
西脇鹿の子句会

文豪の愛せし道後楠若葉
休耕田おおいっくしてれんげ草
頼政祭五峯の山々にぎわへり
荒したる穴あちこちに竹落葉
庭下駄のためらう一歩花の雨
婦省子に大皿に盛る手巻寿し
猫の恋袋小路に迷ひきて
異教徒の墓海向に新樹かな

田中町枝
大森光代
乾東陽子
西山啓子
青山敏洋
内橋哲
来住雅子
松田満江

西脇市 郷土資料館
☎0795-23-5992
10時~18時
月曜休 ※入館無料

「いやいや、古代は墓参の習慣はなかったよ」と岸本さんたちに教わってびっくり。当時の人々にとって、死者の精神は子孫を守ってくれるありがたいものだけ、死者の肉体は悪霊を寄っつかせる危険があると考え、むしろ近づかないようにしていたそうです。また、同じ墓に入るのと同じ血族の人だけだったこともDNA鑑定などで明らかになっており、妻は夫の墓ではなく、実家の墓に入るのが一般的だったとか。古代の人々の暮らしや風習は今とは異なる点が多く、とても興味を湧いてきますね。

郷土資料館は古墳関係の展示も充実しています。下山古墳の近くの集落(富吉遺跡)から出土した土器を見ながら、古代の西脇に思いを馳せてみてはいかがでしょう。

●次回10月号は「たった弁の話」、1月号は「へそある記」です。お楽しみに。

確かに、天井石はかなりの重量級。さらに、播磨の古墳の特徴とされる石柱タイプの袖石にも立派な立石が使われており、埋葬者の財力がうかがえます。そんな有力者のお墓なのだから子孫はさぞかし熱心に墓参りしたのでは……とついには想像しました。

「規模は市内最大。北播磨でも5指に入りますから、間違いなくこの一帯に発展した集落の首長クラスの古墳でしょう」と、岸本さん。地元で伝わる話では、昔はほかに古墳が数基あったが、丘陵下の蒲池の堤防改修時に封土、石材ともに転用されてしまった。しかし、下山古墳の石材だけは巨大すぎて動かせなかったといわれているのだそうです。

「規程は市内最大。北播磨でも5指に入りますから、間違いなくこの一帯に発展した集落の首長クラスの古墳でしょう」と、岸本さん。地元で伝わる話では、昔はほかに古墳が数基あったが、丘陵下の蒲池の堤防改修時に封土、石材ともに転用されてしまった。しかし、下山古墳の石材だけは巨大すぎて動かせなかったといわれているのだそうです。

「西脇の石舞」下山古墳 市指定史跡

今回訪ねたのは、富吉南町の丘陵斜面にある下山古墳。土取りによって封土が失われて横穴式石室が露出し、奈良県明日香村の石舞台古墳を彷彿させます。

昔は子どもの遊び場でしたが、今は石室崩壊の恐れがあるためフェンスで囲われています。そこで西脇市郷土資料館へ内部見学を申し込み、地域の古墳に精通する同館の菅澤敏弘さんと岸本一郎さんにご案内いただきました。

「規模は市内最大。北播磨でも5指に入りますから、間違いなくこの一帯に発展した集落の首長クラスの古墳でしょう」と、岸本さん。地元で伝わる話では、昔はほかに古墳が数基あったが、丘陵下の蒲池の堤防改修時に封土、石材ともに転用されてしまった。しかし、下山古墳の石材だけは巨大すぎて動かせなかったといわれているのだそうです。

石室が今まで崩壊せずに残っているのは奇跡的! 構築技術の高さにおどろきます

天井下の巨石

大きな石だね

本来ならここに土がありました

外から見えるのは、このあたりまで

実際はこの深さがあり、天井高は3.1mもみります

石室の構築は6世紀後半ごろのものといわれます

内容が思った以上に広い!

幅は約2.2~2.7m

長さ3.9m

長さ4.4m

本来は4.4mありとみられる